

来年度 予算へ くらし 支援の

国保料
値下げ

新入学生に
入学準備金

プラスチックごみ
毎週回収

医療負担
軽減

下水道料金
値下げ

予算案の組み替え動議提出 八幡市3月議会で 日本共産党市議団

八幡市の3月議会では、国民健康保険料の値下げ、学童保育の開設時間の延長などで一歩前進しました（既報3月26日号）が、くらしの改善効果は不十分な点が多いので、日本共産党市議団は27日の本会議で、来年度予算案にたいし総額1億5400万円の組み替え動議を提出しました。

日本共産党の予算組み替え案

◇くらし支援の予算へ

- ・国保料の追加値下げ（5000万円）
 - ・国保の医療負担軽減（1300万円）
 - ・新入学生に入学準備金を3月支給（900万円）。平成30年度入学から
 - ・プラスチックごみを毎週回収（3200万円）。10月から実施
 - ・下水道料金値下げ（5000万円）
- これらの施策実施に必要な額
(A) … 1億5400万円

◇財源

- ・同和事業削減（B）3830万円
- ・基金の活用
下水道事業基金から取り崩す
(C) … 5000万円
- 一般財政調整基金から取り崩す
(B+CとAの差額) 6570万円

日本共産党が予算の組み替え動議を提出するのは4年ぶりです。

市長提出の予算案では国民健康保険料の値下げが組み込まれたものの値下げ幅は課税所得200万円の4人世帯で年間41万円という高い保険料ですが、値下げ幅は年わずか740円。「くらし支援」には程遠い値下げ幅です。

組み替え動議では、国保料の追加値下げ、低所得者の医療費負担金減免を拡充、さらに小学校・中学校の新1年生への就学援助のうちカバンや制服などの準備金を入学前に支給することを提案。プラスチックごみの毎週回収、下水道料金値下げを盛り込みました。

他の会派が反対 動議を否決

予算の組み替え動議は、日本共産党の4人の賛成以外、他の会派の議員が反対し否決されました。

全国では議会改革として予算の組み替えや修正の議論が起きていますが、八幡では残念な結果です。

日本共産党は、憲法生かし、暮らしを守る願い実現にがんばります。